

新島

サーフィン、ガラス、白い砂浜
世界を惹きつけるコーガ石の島



新島はどこにあるの？

位置：都心から南に151km

面積：22.97km²

アクセス

航路：竹芝－新島（東海汽船）高速船
で約2時間20分／大型客船で約8時間
30分

空路：調布飛行場－新島空港（新中央
航空）飛行機で約40分



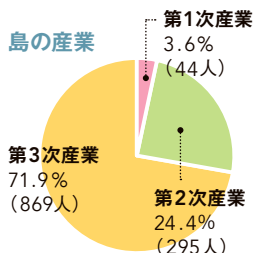
information

島の人々

人口：2,230人

世帯数：999世帯

島の産業



公共施設

役場：1

医療機関：2

小学校：1

中学校：1

高校：1

新島村の特産物

水産生鮮品：キンメダイ、イセエビ、タカベ
水産加工品：くさや、トサカノリ、タタキの
すり身、テングサ、ハバノリ

農林産生鮮品：レザーファン、アシタバ、
ラッキョウ、ルスカス、アメリカ芋、ブルー
ベリー、タマネギ

農林産加工品：明日葉加工品、焼酎、ト
ウガラシ、芋加工品、ペペロンオイル、ブ
ルーベリージャム、ラッキョウ加工品

工芸品：新島ガラス、コーガ石彫刻品

新島村のシンボル

花：ハマユウ

木：ヒメユズリハ

鳥：シチトウメジロ

魚：タカベ



新島のモヤイ像。





白砂のビーチが輝く島

新島は、伊豆諸島では4番目に大きな島です。式根島及び無人島3島とともに新島村を形成しており、村役場は新島に置かれています。緯度はそれほど南に位置しているわけではありませんが、黒潮の影響を受け海洋性の温暖な気候です。

石英を多く含む白砂のビーチはサーフィンや海水浴などマリンスポーツの聖地となっており、なかでも羽伏浦海岸はサーファー好みのビッグウェーブが押し寄せる世界的なビーチとして知られています。

新島の代名詞コーガ石

他の伊豆諸島の島々と同様に、新島も火山島です。新島の最後の噴火は886（仁和2）年といわれ、この噴火により黒雲母流紋岩の溶岩「コーガ石」がもたらされました。コーガ石は、世界中で新島とイタリアのリパ

リ島でのみ採掘可能な貴重なものです。コーガ石は火に強く、断熱効果が高いことから、ビルの屋上の断熱材や、家庭の浴槽の保温効果を高める芯材として利用され、新島の一大産業として栄えました。

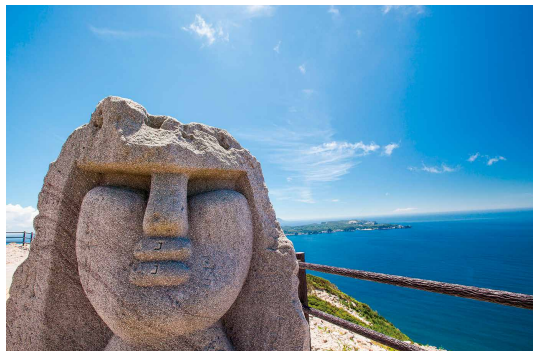
島内でも、民家の家屋や垣根が急速にコーガ石の防火建造物へと変わり、新島の特徴ある町並みの原風景が生まれました。

しかし、時代とともにコーガ石に変わる建材が普及するようになると、新たな用途開発が求められました。そこでコーガ石を原材料に島の特産品として開発されたのが「新島ガラス」です。新島旅行のお土産としてだけでなく、ガラス作品を見学できるガラスアートミュージアムや国際的なイベントを通じて、島の観光振興にも寄与しています。

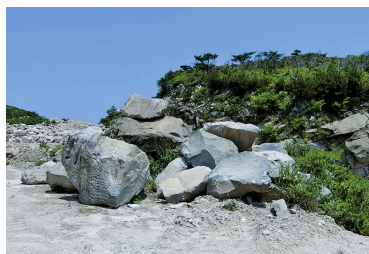
国内外のサーファーたちが集まる。



くらしに垣間見るコーガ石文化



コーガ石の採掘場である向山の石山展望台から見下ろすモヤイ像。



良質の軽い石が好まれたため、重い石は捨てられてきました。



「モヤイ」と「モアイ」は意味が違う!?

新島には、新島特産のコーガ石を素材にして彫刻家や島民、観光客が作ったモヤイ像がたくさんあり、「東洋のイースター島」といわれています。「モヤイ」とは新島の言葉で「力を合わせる」という意味。一方、イースター島の「モアイ」には、未来に生きるという意味があるといわれています。



渋谷駅前にあるモヤイ像は、新島の東京都移管100年を機に、新島のPRとして設置されたものです。

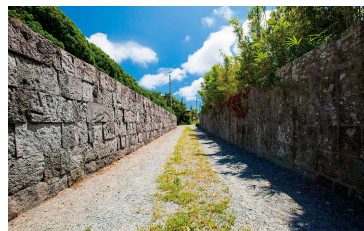
コーガ石は「耐火石」と書き、文字通り火に強い性質をもった石です。特に軽いものほど扱いやすく、良質とされました。

島の庶民の間で使われ始めた頃は、かまどや火消し壺、墓石に用いたり、寺社の石垣に使われたりしていました。

住民の間に広く使用されるようになったのは、明治時代に4回発生した大火をきっかけとして、木造茅葺の民家がコーガ石の耐火建築に建て替えられるようになってからといわれています。当時のコーガ石は、軽量で質が良かったため屋根材としても使用され、壁から屋根まですべてコーガ石の建造物が多く造られました。

しかし、やがて離島ブームによる民宿建築の影響で、古いコーガ石の建造物は解体され、当時の民家や石倉などコーガ石造りの建物は少なくなりました。それでも新島村本村にある「砂んごいの道」には、コーガ石の堀に囲まれた昔ながらの島の風景が今も大切に保存されています。

新島の古い家並みが貴重になるなか、2009(平成21)年に国土交通省の「日本の島の宝100選」に新島の「石の文化—コーガ石造りの村」が選ばれています。

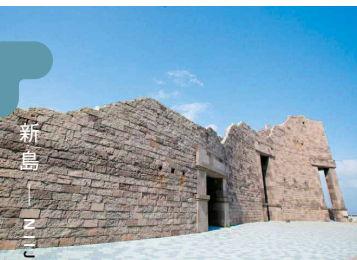


昔の新島の姿をそのまま今に残している「砂んごいの道」。



島で出会えるコーガ石の建造物

あんなところにも、こんなところにも、島内にはコーガ石で造られたモニュメントや建物がたくさん。異国情緒が漂う石造りの建造物群は、旅行者を日常から開放します。



光と風と波の塔

新島港船客待合所前の広場にあるコーガ石でできた塔は、階段を登ると無人島の地内島や、湯の浜露天温泉をパノラマで見ることができます。また、1階の室内ではバーベキューが楽しめます。（要観光協会へ申込。）



新島村博物館

三角屋根のピラミッドを思わせる新島村博物館は、村民から寄贈及び寄託された古文書や書画、民具などの資料を展示しています。中でも、江戸時代に造られていた新島様式の漁船と、茅葺屋根の小屋の複製は必見です。



湯の浜露天温泉

古代ギリシャ建築風の湯の浜露天温泉は、新島を代表するコーガ石の建築物です。水着着用で利用する無料露天風呂は観光客に人気があり、沈む夕日を見ながら浸かるお風呂は格別です。足湯だけの利用も可です。



新島ガラス独特の色合いはコーガ石の鉄分による。

コーガ石から生まれた新島ガラス

コーガ石の採掘は1970年代までは島の一大産業でしたが、やがてコーガ石に変わる新たな建材が開発されると需要は減少し、また良質な石の産出も少なくなるに連れ、次第に使われない腐石が増えていきました。折しも全国的に地域の特産品開発の取組が盛んな時代を迎え、新島においてもコーガ石の付加価値化に向けて研究した結果、新島ガラスが誕生しました。1988（昭和63）年に、新島出身のガラスアーティストをディレクターに迎え「新島ガラスアートセンター」を開設すると、同年より新島村国際ガラスアートフェスティバルを毎年開催しています。



制作体験も可能（要予約）。



館内では制作活動が行われている。



新島ガラスアートセンター



東京が世界に誇る サーフィンアイランド

南北に長い新島には、東海岸を中心にサーフポイントが点在しています。日本屈指のサーフスポットである理由の第一は大きな波が立つことで、ハワイのノースショアのようなパワフルな波に魅了され、国内外のサーファーたちが集まります。毎年たくさんのサーフィン客を迎えているだけでなく、日本プロサーフィン連盟主催などの大きな競技会も開催されています。

白い砂浜が輝く海水浴場

羽伏浦海岸

新島の東岸、南北約7kmある新島を代表する海水浴場です。白亜のメインゲートは各種マリンスポーツの安全対策の拠点として造られたもので、眼下に広がる海岸線を満喫できます。



黒根海岸

新島の玄関口、新島港のすぐそばにあるのが黒根海岸です。栈橋では海釣りができるほか、隣接する船客待合所には屋外シャワーやトイレ、売店（船客待合所内）もあり便利です。



ほんそんまえばさ 本村前浜海岸

本村地区から徒歩で行ける距離にあるのが本村前浜海岸です。海岸が広く、波が穏やかなため、子ども連れの利用者に人気のビーチです。近場に飲食店やトイレ、シャワー設備があります。



展望台から望む新島の絶景

大峰展望台



島の南側、大峰山の中腹にあり、東西の海が一度に見られます。飛行場も見下ろせるので、飛行機の離着陸も見ることができます。

わかごとぶね 若郷渡浮根展望台



新島の北側に位置しコガ石で造られた展望台からは、若郷集落や渡浮根港を眼下に、海の向こうに利島の島影を見渡せます。

青峰山展望台



青峰山ハイキングコースの途中にあり、徒歩でしか行けません。青峰山の森が突如開けて本村を見下ろせます。

石山展望台



眼下に大パノラマが広がる、伊豆諸島の島々を一望できるビュースポットです。展望台までのトレッキングコースも整備されています。

羽伏浦展望台



新東京百景にも選ばれた名勝地で、サーフスポットの羽伏浦海岸があり、晴天時には三宅島、御蔵島を一望できます。

富士見峠展望台



標高432mの宮塚山中腹にあり、本村の集落や式根島、神津島のほか、天気の良い日には富士山まで一望できるビュースポットです。

新島村博物館
日本のサーフィン草
創期のサーフボード
を展示。



十三社神社
13の神様が祀られる
伊豆諸島最大規模の
神社。



新島ガラスアートセンター
新島ガラスアートミュージアム

光と風と波の塔
湯の浜露天温泉
まました温泉

本村前浜海岸

黒根海岸

新島港

青峰山展望台

新島観光協会

石山展望台

大峰展望台

白ママ断崖

富士見峠展望台

羽伏浦展望台

●若郷渡浮根展望台

●平成新島トンネル

メインゲート
各種マリンスポーツの
安全対策の拠点施設。



島内アクセス

バス、タクシー、レンタカー、レンタバイク、
レンタサイクル（電動アシスト付きを含む）あり

島の窓口



新島観光協会

〒100-0400
東京都新島村字黒根



新島村産業観光課

〒100-0402
東京都新島村本村1-1-1

島めぐりコース

【1日目】

午前 新島空港到着、タクシーで移動 → 新島ガラス
アートセンターに電話予約 → 新島村博物館で
村の歴史を知る → 十三社神社を見学 → レン
タサイクルで羽伏浦海岸のメインゲートに向か
い記念撮影

午後 親水公園でひと休み → 新島ガラスアートセン
ターで制作体験 → 湯の浜露天温泉で夕日を見
ながら湯につかる

【2日目】

午前 ハイキング。青峰山展望台をめざし出発 → 展望
台から村を一望

午後 まました温泉の砂むし風呂で汗を流す → 新島
ガラスアートセンターに立ち寄り、冷却済の自
作グラスを引き取る → 新島空港から出発